

佐瀬得所 （とせとくしょ） 書家。文政五年陸奥國會津生れ、明治十一年一月二日歿（一八一三—一七六）。講校、字子象、通稱八大夫。別號松城。元ノ齋子昂（おのゑ）私淑、渡清（わたしみず）して研鑽。二年、歸朝後子弟を教授。大字を得意とす。著書、（おのゑ）俗（しやく）新要文（しんやうぶん）（高倉藍堂著・岸田吟香刻、明治八年十一月五日、武田傳右衛門出版）、（おのゑ）書房合梓、（おのゑ）習字（しやくじ）行書千字文（ぎやうしよせんじふもん）（明治九年十月二十日博文堂藏版）、（おのゑ）階書千字文（かいしよせんじふもん）（明治十二年二月二十五日岐草・成美堂）等。

